



久喜市 内水ハザードマップ

次の時の内水被害実績を記載しています。

- ・平成20年8月 集中豪雨
- ・平成23年7月 台風6号
- ・平成23年9月 台風15号
- ・平成24年5月 大雨

近年、都市化による土地利用の変化や集中豪雨の増加などによる浸水（内水）被害が各地で発生しています。このマップは近年の集中豪雨により、主に道路が冠水した箇所を示しています。

内水による浸水被害は、比較的短時間で発生することが多いため市民のみなさんの素早い判断も必要となります。くぼ地やアンダーパスなど周囲よりも低い場所は、今まで冠水したことが無くとも注意が必要です。

避難の際は、くぼ地やアンダーパスなどの危険箇所を避けることや、浸水した場所では圧力で外れたマンホールや側溝などに足をとられるなどの危険もあることから複数で避難することを心がけてください。状況により無理に避難せず、建物の高いところに留まるなどの柔軟な考えも必要です。

内水による被害は、雨水排水能力を超える降雨により、雨水が地表面に流出する場合や、雨水排水能力以内の降雨であっても放流先河川の水位上昇によって自然放流ができず、水があふれるなどの状況となります。ポンプによる強制排水区域においては、放流先河川の水位が一定以上となった場合にポンプを停止することがあります。

また、くぼ地やアンダーパスなどの要因による冠水被害もあります。

浸水のおそれがある時（P55）、気象情報について（P56）、風水害に備える（P57・58）などの記事もご参考にしてください。

ゲリラ豪雨に注意しましょう!!

集中豪雨や局地的大雨（いわゆるゲリラ豪雨）は積乱雲が発生し発達することにより、発生します。

集中豪雨は前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起きるもので、激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域に数百mmの総雨量となります。

局地的大雨は狭い範囲に短時間で数十mmの強い雨をもたらす、激しい突風、竜巻、あられ、ひょうなどの激しい気象現象をもたらすこともあります。

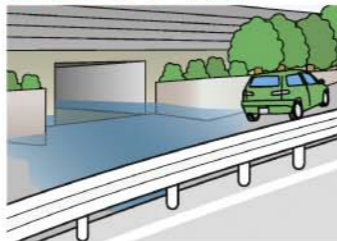
これらのまとまって降る強い雨は、短い時間で「急な増水」「河川・水路のはん濫」「低地・くぼ地が水に浸かる」「道路の冠水」など危険な状況になりますので、高い所などへの避難が必要です。

天気予報などの情報を収集したり、周囲が急に暗くなったり、ヒヤッとした冷たい風が吹き出したりするなどの積乱雲が近づく兆しを察知して身の安全をはかりましょう。

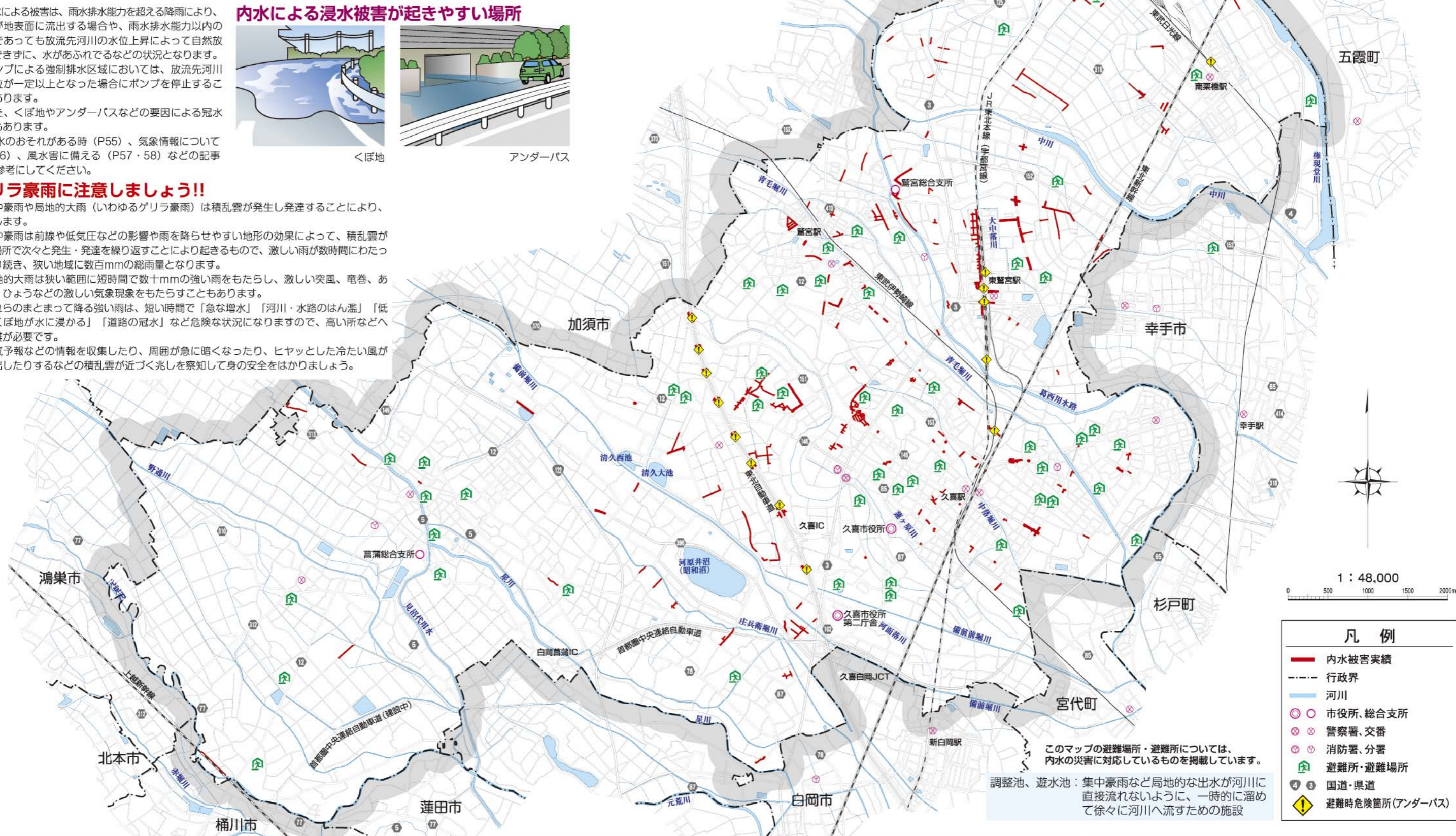
内水による浸水被害が起きやすい場所



くぼ地



アンダーパス



1 : 48,000
0 500 1000 1500 2000m

凡例

- 内水被害実績
- - - 行政界
- 河川
- 市役所、総合支所
- ⊗ 警察署、交番
- ⊕ 消防署、分署
- 🏠 避難所・避難場所
- ④ ③ 国道・県道
- ⚠ 避難時危険箇所(アンダーパス)

このマップの避難場所・避難所については、内水の災害に対応しているものを掲載しています。
調整池、遊水池：集中豪雨など局地的な出水が河川に直接流れないように、一時的に溜めて徐々に河川へ流すための施設